

タイトル	アイヌ語話者の日本語北海道方言談話資料
著者	菅，泰雄
引用	北海学園大学人文論集，2：45-85
発行日	1994-03-31

アイヌ語話者の日本語北海道方言談話資料

菅 泰 雄

アイヌ語話者の日本語北海道方言の研究のための、方言談話資料として、下記の資料を文字化して、標準語訳とアクセント表記を施した。萱野氏は数少ないアイヌ語第一級話者（注1.）のお一人で、アイヌ文化の伝承、アイヌ語教育に活躍されておられる方である。平成元年度からの文部省重点領域研究「日本語音声」（注2.）のE1班「日本語アイヌ語二重言語話者の音声の収集と研究」（注3.）の中で、1993年3月までに17名について、日本語音声の収録をおこなってきたが、今回そのうちの萱野氏についての分である。詳細な調査・分析および他の方々との比較検討などはすべて今後の課題である。

談話資料：STV ラジオ「アイヌ語講座 イランカラプテ」

1989年11月5日、11月12日、11月26日、12月3日放送
分から一部を文字化した。

萱野 茂氏：1925（大正15）年6月生まれ。64歳（当時）。

北海道沙流郡平取町二風谷に生まれる。アイヌ語を母語とし、祖母の語る昔話、カムイユカウを子守歌がわりに聞いて成長。

（萱野 茂『カムイユカウと昔話』小学館1988による）

- ※ 上の行：原則として、息つぎの単位で、カタカナによって発音を表記。カタカナ小文字は言いさし、言いよどみを示す。
アイヌ語の部分はひらがなで表記。ただし、語末の子音はカタカナの小文字で表記した。

「は上昇ないし比較的高い始まり。」は下降を示す。

〔……〕は生徒の発話部分で省略した。

長音は「ー」。

が行鼻音が使われているが、特に表記はしなかった。

ズ、ジュはそれぞれ [dzɯ, dʒɯ] を表す。

下の行：漢字仮名まじりで標準語訳をつけた。なお、アイヌ語の部分はローマ字で表記した。

注1. 村崎恭子(1990)「日本語アイヌ語二重言語話者の音声の収集と研究」(『日本語音声』研究報告2)による。

注2. 文部省重点領域研究「日本語音声における韻律的特徴の実態とその教育に関する総合的研究」(研究代表者：杉藤美代子)平成元年度から平成4年度

注3. 研究代表者：村崎恭子

参考文献

- 菅 泰雄(1990 a)「アイヌ古老の日本語音声の特徴と語彙」(『北海道方言研究会会報』32)
- (1990 b)「アイヌ古老の日本語音声の特徴と語彙」(『日本語音声』研究報告3)
- (1991)「アイヌ語静内方言話者の日本語音声と語彙」(『国語国文研究』90)
- (1992 a)「静内の言葉」(『北海道方言研究会会報』40)
- (1992 b)「日本語によるウエペケレを聞いて」(『北海道方言研究会会報』45)
- (1992 c)「アイヌ語話者の日本語音声(1)」(『日本語音声成果刊行書』)
- (1993 a)「Yuk wen kamuy」荒井源次郎さんの談話資料

と解説」

「杉村京子さんの談話資料と解説」（小野米一『アイヌ語話者の日本語北海道方言についての研究』
科研費成果報告書）

(1993 b) 「アイヌ語話者の日本語音声(2)」杉村さんの項（上に同じ）

(1993 c) 「アイヌ語講座の日本語」（『北海道方言研究会第101回発表資料』）

小野 米一(1990 a) 「アイヌ語話者の北海道方言」（『北海道方言研究会会報』31）

(1990 b) 「アイヌ語話者の日本語音声と北海道方言」（『日本語音声』研究報告3）

(1992) 「アイヌ語話者の日本語北海道方言」（『学芸国文学』24）

(1993) 『北海道方言の研究』（学芸図書株式会社）

村崎 恭子(1990) 「日本語アイヌ語二重言語話者の音声の収集と研究」（『日本語音声』研究報告2）

(1991) 「アイヌ語日本語二重言語話者の日本語音声の調査研究」（『日本語音声』研究報告4）

(1992 a) 「アイヌ語日本語二重言語話者の音声の収集と研究」（『日本語音声』研究報告6）

(1992 b) 『アイヌ語話者の日本語音声(1)』（科研費報告書）

(1993 a) 『アイヌ語話者の日本語音声(2)』（科研費報告書）

(1993 b) 『CD アイヌのことば解説とテキスト』（科研費報告書）

1. 音声特徴の概要

ガ行鼻濁音が使われている。

[ai] が [ε:] になることがある。→浅いぐらい [guε:] ,

名前をつけるぐらいになると→ [guɾɛ:]

[ʝia] が [ʝja] / [ʝa:] になる。→しあわせ: [ʝjawase, ʝa:wase]

[ie] が [je:] になることがある。→家: [je:]

[çi] が [ʝi] になることがある。→人: [ʝito]

有声化

また→まだ[mada], 弟→おとうど(〈おとうと〉もあり)[oto:do]

かじる→がじる [gadʒirɯ]

※他のアイヌ語話者に見られた特徴は見いだせなかった。

2. 主な語彙・語法の特徴

私:わたし, あたし, あたくし, わたくしの語形が使われている。

穴の太さ:大きいを太いで表現。大きな穴の表現も使われている。

ひく・しく:枯葉をひく 砂利をしく の表現が使われており, 両者に意味の違いは認められない。

がじる (かじる):「かじる」を語頭子音が有声音化しているが, 直前の「がりがり」にひかれたためかもしれない。

子守歌をゆう／子守歌をする:動詞「歌う」の代わりに「いう」「する」が使われている。

しゃけ (鮭):「さけ」の語形は使われない。

川エカ (川番エカシ):日本語とアイヌ語の複合語である。

3. 文法の特徴

ラジオ放送という改まった場面での発話のため, 通常の話し言葉に見られる助詞の省略などはほとんど見られない。場所格の助詞「に」のかわりに「へ」を多用する傾向がある。

日本語北海道方言に広く見られるラ抜きが可能表現「育てれる」が使われている。

4. 特徴的な表現

精神のいい人，精神のいい木，精神の悪い神 など「精神」の使い方に特徴が見られる。

5. アクセント

以下に，談話中に見られるアクセントのありようを示す。

1 拍名詞 木：「き，き」の

手：て，て」の

血：ち」に

火：ひ」を，ひのかみさま

矢：や」を

I類「血」が●△になっている。III類「手」「火」に●△と○△の型がありゆれている。

2 拍名詞 穴：あ「な」ヲ

雨：あ「め」ノ，あ「めノ

今：い「まハ

上：う「え」，う「え

貝：か「い」ノ

狩り：か」リ

下：し「たへ，し「た」ヘ

尻：し「リ

土：つ「ち」ヲ

母：ははハ，は「は」

冬：ふ「ゆ」ノ

前：ま」えニ，まえ「ニ

屋根：や「ね」ヲ

雪：ゆ「き」ノ

垢：あ「か，あ「か」ツク

姉：「あね」ガ

意味：い」ミ

音：お「と，お「と」ガ，

萱：か「やヲ，か「や」ヲ

これ：こ「れハ，こ「れ」ハ

しゃけ：しゃ「け」ガ

次：つ」ぎ，つ「ぎ」ハ

中：な」カ

紐：ひ「もヲ

本：ほ「んデ

村：む「らデ，む「ら」デ

山：や「ま」カラ

横：よ「こニ，よ「こ」ニ

夜：よ¹る

○●▲と○●△の間にゆれているものに、上、音、萱、下、横がある。

3拍名詞	頭：あ「たま」ニ	霞：あ「られが、あ「られ」ノ
	五つ：い「つつか」ラ	囲炉裏：い「ろり
	後ろ：う「しろ、う「し」ろ	男：お「とこ、
	女：お「んな	思い：お「もい
	玩具：お「もちゃ	身体：か「ら」だ、か「らだガ
	枯葉：か「れ」は	記号：き「ごう
	季節：き「せ」つ	着物：き「もの
	行事：ぎょうじ「ガ	近所：きん「じょ、き「んじょ
	薬：く「す」り	言葉：こ「とば
	小鳥：こ「とり」ガ	五年：ご「ねん
	最初：さ「い」しょ、さ「い」しょ、さ「いしょ」ニ	
	下地：した「じ」ニ、	子孫：し「そん」ノ、し「そ」 んガ
	スコップ：す「こっ」ぶ	簾：すだ「れ
	背中：せ「な」かニ、せ「なか」ニ、せ「なかへ	
	先祖：せ「んぞ	団子：だ「んご、だん「ごヲ
	手垢：て「あか」ノ	名前：な「まえガ、な「まえ」 ヲ、なま「え、な「ま」 えヲ
	長さ：な「が」さ、な「が」さ	願い：ね「がいヲ
	寢床：ねど「こ」ト	話：は「な」しヲ、は「なし」ヲ
	柱：は「しらヲ、は「しら」ヲ	深さ：ふ「か」さ
	二日：ふ「つか」ハ	魔物：も「もの」ハ
	三日：みっ「か」ハ、	昔：む「か」し、む「かし」 モ、む「かしノ
	みっ「か	

娘：む「すめ」ノ

明治：め「いじ

眼鏡：め「が」ね、め「が」ね

蓬：よ「もぎ、よ「もぎ」ヲ

ラジオ：らじ「お」ヲ

私：わ「たし、わ「た」し、

わ「たし」モ

○○●△になっているものに「下地、簾、団子、名前、寢床、ラジオ」がある。

○●○と○●●の間でゆれの見られるものに「後ろ、身体、背中、名前、昔、眼鏡、私」がある。

4 拍名詞 赤ちゃん：あ「か」ちゃん、あ「か」ちゃん、あ「か」ちゃん

あちこち：あ「ちこ」ち

一番：い「ちばん、いち「ば」ん

稲黍：い「なき」び

鉛筆：え「んぴつ」ト

お祈り：お「いのり、

弟：お「とうと」ガ

おい「の」り

お祭り：お「まつり」ト

貝殻：か「いがら、か「いが」ら

神様：か「みさま、

樺太：か「らふと

かみ「さ」ま

兄弟：きょう「だ」いガ

講演：こ「うえん

御供物：ごく「も」つ、

材料：「ざい」りょう、

ごく「もつ

ざ「いりょ」う

静内：し「ず」ない、

幸せ：し「やわせ」に、

し「ずな」い

「しやわ」せに

精神：せい「しん」ガ、せ「いしん、せい「しんノ

青年：せい「ね」んニ

先週：せ「ん」しゅう、せ「ん

しゅう、せん「しゅ」う

先生：せ「んせい」、せ「ん」せい

たくさん：た「くさ」ん、たく「さ」ん、た「くさん」ノ、たくさん

付け方：つ「けか」た

何回：な「んか」い、

なん「か」い

二番目：に「ば」んめ， 二風谷：に「ぶた」に
に「ばんめ

母親：は「はおや ブランコ：ぶ「らんこ，
ぶ「らんこ」ノ

皆さん：みな「さ」ん，み「な」さん，み「なさ」ん

餅まき：も「ちま」き 持ち物：も「ちもの

屋根裏：やねう「ら」，や「ねうら，や「ねうら」

呼び方：よ「びかた」 六人：ろ「くに」ん，
ろ「く」にん

若者：わ「かもの」，
わ「かもの

「赤ちゃん」には上記のように，3つの型が現われている。

○○●○になっているものに，「一番，神様，兄弟，御供物」がある。

5拍名詞 旭川：あ「さひ」かわ，あさひか「わ」
男の子：お「とこのこ」，お「とこのこ
おまじない：お「まじない 火山灰：か「ざんば」い
子守歌：こ「もりう」た 外仕事：そ「とし」ごと
ホタテ貝：ほ「た」てがい，ほ「たて」がい
渡し守：わ「たし」もり，わ「たしも」り

動詞 打つ：う「ちま」す，う「つと，う「たれ」たら，う「った
置く：お「く，お「いて
聞く：き「いて，き「い」ても
焚く：た「き」ます，た「くと」き，た「いて，た「きおわった
出る：で「て
張る：は「る
葺く：ふ「く」んです，ふ「く」こと，ふくこと

降る：ふ「りま」す，ふっ「た」り

掘る：ほ「る」こと，ほっ「たか」と，ほっ「たか」，ほっ「た」か

持つ：もっ「て」，もつ「と」，もっ「て

読む：よ「んだ

歩く：あ「る」く

あげる：あ「げる」と，あげる

帰る：か「え」って，か「える」こと

決める：き「め」て

座る：すわ「る」，す「わ」っ

て，す「わ」って

育つ：そ「だ」つ，

建てる：た「て」る，た「て

る，た「て」て

乗せる：の「せる

生える：は「え」た

開く：ひ「ら」いて，

拾う：ひ「ろ」って

増える：ふ「える」，ふ「えま」した

集める：あ「つめ」て

預ける：あ「ずけ」て

生まれる：う「まれる」んだ，う「まれた」，

う「まれた」んで，う「まれるん」です

かがめる：か「がめる」と 聞かせる：きか「せ」て，

き「かせた

聞こえる：き「こえ」る

鎮める：しず「め」る

生き返る：い「き」かえる

形容詞

いい：い「い」い，い「い」と，い「いで」すか，いい

浅い：あ「さ」い

古い：ふ「る」い，ふるい

細い：ほ「そ」い

少ない：す「く」ない

短い：み「じか」い

新しい：あ「たらし」い

忙しい：い「そがし」い

高い：た「か」く

大きい：お「お」きく

談話資料 11月5日

- 01 オ「ハヨーゴザイマ」ス カ「ヤ」ノシ「ゲルデ」ス キョーワ
お早うございます。 萱野茂です。 今日は
- 02 「ジュ」ーイチガツイ「ツカ ア「チコ」チデ イ「ロイロナ
十一月五日 あちこちで 色々な
- 03 ブ「ンカ サ」イ ギョージ「ガ オ「コナワレマ」シタネ
文化祭 行事が 行われましたね。
- 04 ワ「タシモ ジュー「イチガ」ツフ「ツカ」ワコ「ーエン
私も 十一月二日は 講演
- 05 ミッ「カ」ワ アー ビラトリ「チョ」ーノ ヒョ「ーショ」ー
三日は 平取町の 表彰
- 06 ス「ル」ヒ「ト タ「チ」ノタ「メ」ノオ「イワイニ
する 人 たちのための お祝いに
- 07 イッ「テキタ」リ イ「ロンナコ「ト」デジュ「ーイチガ」ツワ
行ってきたり 色々なことで 十一月は
- 08 イ「ソガシ」ーデスヨネー ソ「レデ イ「エオタ「テ」ルハ「ナシ」
忙しいですねえ。 それで 家を建てる話の
- 09 ノ ニ「バ」ンメオチョッ」トハ「ナ」シオシテ オ「キマショ」ー
二番目を ちょっと 話をして おきましょう。
- 10 エー セ「ン」シューワ ハ「シラノト「コロ」マデ イ「キマ」シタ
先週は 柱のところまで いました。
- 11 ハ「シラオタ「テ」ル ソ「シテソノ オー ハ「シラオタ「テ」ルンデ
柱を建てる。 そして その 柱を建てるんで
- 12 スケレドモ イ「マワ ス「コッ」プモ ア「リマ」スネー
すけれども 今は スコップも ありますね。
- 13 ダ「ケド フ「ルイジ」ダイワ ソ「ーカ「ンタンニ」ワ アー アナホ
だけど 古い時代は そう簡単には
- 14 ア「ナ」オ ホ「ルコトワデ「キマセ」ン ドーユーモ「ノ」デ
穴を 掘ることはできません。 どういうもので

- 01 ア「ナ」 オホッ「タカ」 トイ「エ」 バ アー ホ「タテ」 ガイノ
穴を 掘ったかといえは ほたて貝の
- 02 カ「イガラ ア「ル」 イワ 「ホッキ」 ガイノカ「イガ」 ラオ
貝殻 あるいは ほっき貝の貝殻を
- 03 ツ「カ」 イマシタ ソ「レワド「ーシ」 テソーユー「コ」 ト
使いました。 それはどうしてそういうこと（が）
- 04 ワ「カ」 ルカトイ「エバ ヨ「ネンホドマエ「ニ ビ「ラトリ」 チョ
わかるかといえは 四年程前に 平取町
- 05 ニ「ブタ」 ニ デ ぽ「ろもいノちゃしトユー「ちゃ」 しオ
二風谷で poromoy の casi という casi を
- 06 ハッ「クツシ「マ」 シタ ソ「ノト」 キニ エー イ「エノア「ト」 ガ
発掘しました。 そのときに 家の 跡が
- 07 デ「テキ「タ」 ンデスネ ソ「レ」 ワ チョ「ー」 ド ソ「ノ
出てきたんですね。 それは ちょうど その
- 08 ホ「タテ」 ガイオ ツクッ ツ「カッ」 タ「カ ア「ルイ」 ワ
ほたて貝を 使ったか あるいは
- 09 ホッ「キガ」 イオツカッタア「ナ ア「タクシ」 モ コーテオ
ほっき貝を使った穴 私も こう手を
- 10 イ「レテミ「タ」 ンデスケド ワタシノテ ミ「ジカ」 イ
入れてみたんですけど 私の手（は）短い
- 11 ホーデワア「リマセ」 ンガ モースッ「カ」 リ カ「ラ」 ダオ
方ではありませんが もうすっかり 身体を
- 12 ヨ「コニシテ カ「ラ」 ダオ ツ「チ」 ノウエ タ「イラニ ネ「テ
横にして 身体を 土の上（に） 平に 寝て
- 13 ソ「シテ ア「ナノナ」 カエテオイ「レ」 タラ チョ「ー」 ド
そして 穴の中へ 手を入れたら ちょうど
- 14 ア「タ」 シノ テ「ノナ「ガ」 サグライ ノ フカーイア「ナ」
私の 手の長さぐらいの 深い穴

- 01 デシタ ソ「レモ チャ」ントソノ ア「ナノフ「ト」サモ ウーン
でした。 それも ちゃんと その 穴の大きさも
- 02 ホッ「キガイデ ホッ」タカ ホ「タ」テガイデ ホッ「タ」カ
ほっき貝で 掘ったか ほたて貝で 掘ったか
- 03 ソーユコ「トデ ス「コッ」プノア「ナ」トカアーユー
そういうことで スコップの穴とか ああいう
- 04 オオキナア「ナ」デ ナ「カッ」タト ソーユ「コ」ト
大きな穴でなかったと そういうこと (が)
- 05 ヨ「ク ワ「カリマ」シ「タ ソ「レデ ハ「シラ」オタ「テ」ル
よく わかりました。 それで 柱を建てる、
- 06 ケ「タオノ「セル ヨ「コゲタオノ「セル ハ「リオノ「セル
桁を乗せる 横桁を乗せる 梁を乗せる。
- 07 ソ「シタラ ソ「ノウ「エ」エ ガッ「ショー
そうしたら その上に 合掌
- 08 トユーノオツ「ケ」マス コ「レワア「イヌゴ」デ さっ「シト
というのをつけます。 これはアイヌ語で sassi と
- 09 イ「イマ」ス さっ「しゅオツ「ケ」ル ソ「シテソノ
いいます。 sassi をつける。 そして その
- 10 ガッ「ショーオツ「ケ」タソノ ウ「エ」エ ヨ「コ」ニ
合掌をつけたその上に 横に
- 11 さ「きり ヤ「ネ」ヤカ「ベ」ノシタ「ジ」ニハ「ルホ「ソ」イ「キ
sakiri 屋根や 壁の 下地に張る 細い木
- 12 ソ「レオ さ「き」リトイ「イマ」ス ソ「レ」オア「テ」テ エー
それを sakiri といいます。 それを当てて
- 13 ソ「ノウ「エ」エ カ「ヤオノ「セル」ンデスネ
その上に 萱をのせるんですね。
- 14 カ「ヤオノ「セルマ」エニ あくっぽ「く」んペットイッテ
萱をのせる前に akuppokunpet といって

- 01 ヤネウ「ラ」エハ「ルスダ」「レ」ソ「シテ」エー「ソ」「ノウ」「エ」エ
屋根裏にはる簾 そして その上に
- 02 カ「ヤ」オナ「ラベ」テ ヤ「ネ」オフ「ク」ンデスネ
萱を並べて 屋根をふくんですね。
- 03 ヤ「ネ」オフクコト あ「くツプトイ」「イマ」ス
屋根をふくこと akup といいます。
- 04 ヤ「ネ」オフ「ク」コトオ あ「くツプ」サ「キホド」
屋根をふくことを akup 先ほど
- 05 イ「イマ」シタ「ガ」コノ「タ」「テ」タ アー「ハ」「シラアナ」
言いましたが この建てた 柱穴
- 06 シュ「ツドシタイ」「ロンナ」フ「ル」イア「レ」オミ「ルト」ウー
出土した色々な 古いアレを見ると
- 07 ホ「タテ」ガイデホ「ッタ」ア「ナ」ナ「ド」ハッ「キ」リ
ほたて貝で掘った穴など はっきり
- 08 ワ「カリマ」シタ ホ「タテ」ガイノコ「ト」オ ア「イヌゴ」デワ
わかりました。 ほたて貝のことを アイヌ語では
- 09 あっ「け」「てっく」イ「イ」マス あっ「けてッ」ソ「レカラ」
akketek といいます。 akketek それから
- 10 ウーン ホッ「キ」ガイノコ「ト」ワ ぽく「せい」トイイマス
ほっき貝のことは poksey といいます。
- 11 ぽく「せい」トユー「コ」ト ウーン カ「イ」ノソー「ショー」オ
poksey ということ 貝の総称を
- 12 「せい」トイ「イマ」スケレドモ イ「ロイロソノ」カイノスグ
sey と言いますけれども いろいろ その
- 13 カ「タチ」トカミ「テ」イロイロ「ナナ」「マエオツ」「ケ」テ イル
形とか見て 色々な名前をつけている
- 14 ヨー「デス」ソ「レデ」イ「エ」オ ジュン「ジョド」ーリニ
ようです。 それで 家を 順序通りに

- 01 タ「テル ソ「シタ」ラ シ「ンチクイ」ワイオシ「マ」ス
建てる。 そしたら 新築祝いをします。
- 02 コノシ「ンチクイ」ワイトユーノワ イ「エオタ「テテ イ「ロリオ
この新築祝いというのは 家を建てて 囲炉裏を
- 03 オー ツ「クッ」テ ソノイ「ロリノ ウー ツ「クリカタモ ウー
作って その囲炉裏の 作り方も
- 04 オ「トナ」ノスネ イブ ノ「ナ」ガサヨリ ス「コ」シ
大人の臍の 長さより 少し
- 05 ア「サ」イグラエノフ「カ」サニシテ イ「チバンシ「タエ
浅いぐらいの深さにして 一番下に
- 06 ヤ「マ」カラ キ「レーナ」カ「レ」ハオモッ「テキテヒ「キマ」ス
山から きれいな枯葉を持ってきて敷きます。
- 07 ソ「ノウ「エ」エ ウーン ジャ「リオモッ」テキテシ「キマ」ス
その上に 砂利を持ってきて敷きます。
- 08 ソ「ノウ「エエ キ「レーナ」ツ「チ カ「ザンバ」イノヨ」ーナ
その上に きれいな土 火山灰のような
- 09 キ「レーナ」ツ「チ」オモッ「テキテヒク ソ」シテ ソ「ノ
きれいな土を持ってきて敷く。 そして その
- 10 ウ「エ」エ ヒ「オタ「キ」マス ヒ「オタ「クト」キノモ
上に 火を焚きます。 火を焚く時にも
- 11 「キン」ジョノ ト「テモ セー「シン」ノ「イ」イ シ「ソン」ノ
近所の とても精神のいい 子孫の
- 12 ハ「ンエーシテル オ「ジ」ーサン「カ オ「バ」ーサンニ ヒ「
繁栄しているおじいさんか おばあさんに 火
- 13 オタ「イテモ」ラウ トユー「コ」トワ ソ「コデ ア「タラシ」イ
を焚いてもらう。 ということは そこで 新しい
- 14 「ヒ」ノ「カ」ミサマガウ「マレル」ンダヨト ユ「ーコトオ ウーン
火の神様が生まれるんだよと いうことを

- 01 ア「イヌタチワ カ「ンガエ」ル「ノ」デ イチバン
アイヌたちは考えるので 一番
- 02 セ「ーシンノ「イ」イヒトニ ヒ「オタ」イテモ「ラ」ウコトニ
精神のいい人に 火を焚いてもらうことに
- 03 「ヨ」ッテ エー ソ「コ」ノイ「エガ シ「ヤワセ」ニ
よって その家が 幸せに
- 04 ナ「レ」ル「ヨ」ーニトユ「ー」ネ「ガイオコ「メテ ヒ「オ
なれるようにという願いを込めて 火を
- 05 タ「ク ワ」ケ デ「ス ソ」シテ ヒ「オタ「キオワッタ」ラ
焚くわけです。 そして 火を焚きおわったら
- 06 ミ「ンナ」デ ア「タラシ」クウ「マレタヒノカミ「サ」マニ
みんなで 新しく生まれた火の神様に
- 07 チャ「ントソ」コノイ「エ」ニク「ラスヒトタ」チガ
ちゃんと この家に暮らす人たちが
- 08 「シャーワ」セニク「ラセマ」スヨーニト ユーコトデ
幸せに暮らせますようにと いうことで
- 09 オ「イノリオシ「マ」ス オイ「ノ」リオシタソノア」トデ
お祈りをします。 お祈りをしたその後で
- 10 ち「せちょっちゃ」トイッテ ヤ「ネ ウ「ラ」エ ヨ「モギ」ノ
cisecocca といって 屋根裏に 蓬の
- 11 オー 「ヤ」オウ「チマ」ス ヨ「モギ」ノ 「ヤ」オウ「チマ」ス
矢を打ちます。 蓬の 矢を打ちます。
- 12 ソ「シテコノヨ「モギ」ノ「ヤ」オ ウ「ツトユー「コ」トワ
そしてこの蓬の矢を 打つということは
- 13 タ「クサ」ンツ「カツ」タイ「ロイロナザイ」リョー ノ「ナ」カデワ
たくさん使った色々な材料の中には
- 14 セー「シンノ「イイキモア」ル セ「ーシンノワ「ル」イ「キ」モアル
精神のいい木もある 精神の悪い木もある。

- 01 ダ「カラ ソ「ノ ウー キ「ノカミサマノレ「ーオ シズ「メ「ルト
だから その 木の神様の霊を 鎮めると
- 02 ユーイミデコノ ヨ「モギ「デ ヨ「モギノ「ヤ「デ
いう意味で この蓬で 蓬の矢で
- 03 ヤネ「ウ「ラオウ「ツ ワ「ケ デ「ス ソ「レカラ アー
屋根裏を打つわけです。 それから
- 04 ヨ「モギ「オ「ツカ「ウトユー リ「ユーデ「スケレドモ ヨノギ
蓬を使うという 理由ですけれども
- 05 ヨ「モギ「オ「ツカ「ウノワ イチ「バ「ン ア「イヌノ
蓬を使うのは 一番 アイヌの
- 06 あ「いぬもしり もしりそかたあきあんねれッ エー の「や ねー
aynu mosir mosirsokataakiannerep noya ne
- 07 トユッテ ア「イヌノコク「ド「ノ「ナ「カデ イチ「バ「ン
といって アイヌの国土の中で 一番
- 08 サ「イショニ「ハ「エタノガヨ「モギダ「ト ダ「カラ ヨ「モギノ
最初に生えたのが 蓬だと だから 蓬の
- 09 「ヤ「デ ウ「タレ「タラ ド「ン「ナ セ「ーシンノ
矢で 打たれたら どんな 精神の
- 10 ワ「ル「イカ「ミ ソ「レカラ マ「モノ「モ
悪い神 それから 魔物も
- 11 イ「キ「カエルコトガデ「キ「ナイ ソー「ユーフ「ーニ
生き返ることができない。 そういうふうに
- 12 ユ「ワレテイル 「ノ「デ コノヨ「モギ「オツ「カ「ウコトニ
言われているので この蓬を使うことに
- 13 ナッテイル「ワ「ケデス ヨ「モギノ「ヤ「デ ヤ「ネウラニ
なっているわけです。 蓬の矢で 屋根裏に
- 14 「ウ「ッタ ソ「ノ「ア「トニ コ「ンドワ マ「ダ
打ったその後に 今度は また

- 01 サ「キホドヒオタ」イテクレタ オバーサンガア「ルイ」ワ
先ほど火を焚いてくれた ばあさんか あるいは
- 02 アー ホ「カノオバーサンデ」モカマイマセ「ン ヤハ「リ
他のおばあさんでもかまいません。 やはり
- 03 セー「シン」ガイ「イ」ト ミ「ンナ」ガミテオ「モウ」ヨーナ
精神がいいと みんなが見て思うような
- 04 イイオ「バー」サンニ はるらんなートイッテ ヤ「ネウ」ラエ
いいおばあさんに haruranna といって 屋根裏に
- 05 ダン「ゴオ「マ」イテモ「ライマ」ス コノはるらんなート
団子をまいてもらいます。 この haruranna と
- 06 ユ「ーノ」ワ アー ゴク「モ」ツガ「フ」ルヨト
いうのは 御供物がふるよと
- 07 イ「エノ「ナ」カデ ヤ「ネウラカ」ラゴク「モツガ
家の中で 屋根裏から御供物が
- 08 フッ「テキ」タ「ラドンナニ「イ」イダロ ニ「ンゲンワ
降ってきたら どんなにいいだろう。 人間は
- 09 ソーユーフーニカ「ンガエ」タ「ノ」デ ソ「レオ ソ「ノバショ」デ
そういうふうに考えたので それを その場所で
- 10 オ「マツリ」トシテ ヤ「ルワ」ケデスネ はるらんなートユーノワ
お祭りとしてやるわけですね。 haruranna というのは
- 11 ゴク「モ」ツガフ「ル「ヨー」トユーイ」ミデ ナマノ
御供物がふるよという意味で 生の
- 12 イ「ナキ」ビノダ「ンゴ オー「キサワ オ「トナノオヤユビ
稲黍の団子 大きさは 大人の親指
- 13 グ「ライノダ「ンゴ ソ「レオ ダ「イタイ ゴジューニン
ぐらの団子 それを 大体 五十人
- 14 イ「タ」ラ ゴ「ジュッ」コカロ「クジュッ」コ ヤ「ネウラ」エ
いたら 五十個か六十個 屋根裏に

- 01 バラバラマ「キマ」ス コ「リャオーイ「ソ」 ギデ
ばらばらまきます。 これは 大急ぎで
- 02 キョー「ソーシ」テ トッ「テワイ「ケマセン
競争して 取ってはいけません。
- 03 ジ「ブンノフトコ」ロエ ジ「ブンノ ア「グラカ」イテイタラ
自分の所へ 自分の あぐらをかいていたら
- 04 ソ「ノナカ」エオチタノダケヒロウコトニキ「メ」テアリマース
その中に落ちたのだけ拾うことに決めてあります。
- 05 フ「ツーノ ウーン モ「チマ」キノ「ヨ」ーニ エー
普通の 餅まきのように
- 06 キョー「ソー」シテト「ルトユーコトデナ」ク ギョ「ーギョ」ク
競争して取るということではなく 行儀良く
- 07 ヒ「ロツテ エ「ンギモノト」シテ「モッ」テカ「エル」コ「トニ
拾って 縁起物として 持って帰ることに
- 08 ナッテイル ワ「ケ デス「ネ ソ「レデ」ワ キョ「ーノ ウーン
なっているわけですね。 それでは 今日の
- 09 ベン「キョーノ アレニ ハイリ「マ」スガ アナタワ
勉強に 入りますが、 あなたは
- 10 ナン「サ」イデス「カー えばはい「やーん ワ「タクシワ
何歳ですか epahayyan 私は
- 11 マ「ルマ」ルサイデス くぱはあ「なク」ねマ「ルマ」ルねト
〇〇歳です。 kupaha anak 〇〇ne と
- 12 ユ「ーフーニイツ「テ ……以下略……
いうふうについて

11月12日 レッスン部分

- 13 キョ「ーワ ウーン 「たん」ペへまんた「あーんツテ コ「レ」ワ
今日は tanpe hemanta an って これは

- 01 ナ「ン」デスカト ユーヨーナベン「キョーオ」 イッ「ショニ」
何ですかと いろいろな勉強を 一緒に
- 02 シ「タ」イトオ「モイマ」ス エー フ「ルイジ」「ダイ」デスケドモ
したいと思います。 古い時代ですけれども
- 03 アノー キ「ンダ」イチキョー「スケセ」「ンセー」ガ メ「イジ」
金田一京助先生が 明治
- 04 ナン「ネンデアッタデショ」ーカ カ「ラフトエイッテ」
何年であったでしょうか 樺太へ行って
- 05 イチバンサ「イ」ショニ コノ オ「ボエ」タノワ
一番最初に 覚えたのは
- 06 ヘ「まん」たトユーコ「トバオオボエタトユーフ」ーニ
hemanta という言葉を覚えたというふうに
- 07 セ「ン」セー ズ「イヒツニ」オ「カキニナッテオ」「リマ」シタガ
先生（は） 随筆に お書きになっておりましたが
- 08 コ「レ」ワナ「ン」デスカトユーコトオオ「ボエ」ルト ド「ンナ」
これは何ですかということを見ると どんな
- 09 コトバ「デモ」ド「ンド」ン ツ「ギカ」ラツ「ギト」
言葉でも どんどん 次から次と
- 10 ア「イヌノム」「ラ」エイッ「タ」ラオ「シエテクレルデ」ショー
アイヌの村へ行ったら教えてくれるでしょう。
- 11 ソ「ノヘンオ」チャ「ント」オ「ボエ」テオキマショーネ エー
その辺を ちゃんと覚えておきましょうね。
- 12 コ「レ」ワナ「ン」デスカッテ コ「レ」ワナ「ン」デスカト
これは何ですかって これは何ですかと
- 13 ユート「キ」 「たん」ペヘ「ま」んた「あーんとユーフーニ」
いうとき tanpe hemanta an というふうに
- 14 たプ た「ん」ペ 「たプ」 「あ」んペ コ「コ」デ チャ「ント」
tap tanpe tap anpe ここで ちゃんと

- 01 キ「ゴーアリマスガ た^ㇿ んぺ たん た^ㇿ んぺ
記号ありますが tanpe tan tanpe
- 02 「た^ㇿ「あん^ㇿ पे「ガ た^ㇿ んぺ「ニナ^ㇿ ルネ
tap anpe が tanpe になるね
- 03 た^ㇿ んぺへ「ま^ㇿ んたあーん た「ば^ㇿ んぺテユーフーニ
tanpe hemanta an tapanpe ていうふうに
- 04 ナ^ㇿ ルワケデスネ コ「レワエ^ㇿ ーデス
なるわけですね。 これは je: (家) です。
- 05 た^ㇿ んぺ あ「な^ㇿ ね ちせ トユー コ「レ^ㇿ ワ
tanpe ank ne cise という これは
- 06 ワ「タクシノモノデス た^ㇿ んぺ あ「な^ㇿ ね く「くろ^ㇿ पेねト
私の物です。 tanpe anak ne kukorpe ne と
- 07 ユーフーニ イ「イマ^ㇿ スガ こ^ㇿ ろペト「ユ^ㇿ ーノワ
いうふうに 言いますが, korpe というのは
- 08 こ^ㇿ ろトユ^ㇿ ーノワ モ^ㇿ ツトユーイ^ㇿ ミデス
kor いうのは 持つという意味です。
- 09 こ^ㇿ ろペトユ^ㇿ ーノワ モ^ㇿ ツトユーイ^ㇿ ミ デス ソ「レデ^ㇿ ワ
korpe いうのは持つという意味です。 それでは
- 10 ナ「ンカ^ㇿ イカ レ「ンシューシ「マ^ㇿ スヨ イイカ「ナ
何回か 練習しますよ。 いいかな。
- 11 コ「レワナ「ンデ^ㇿ スカートユート^ㇿ キ
これは何ですかというとき
- 12 た^ㇿ んぺへ「ま^ㇿ んたあーん [……] た^ㇿ んぺへ「ま^ㇿ んたあーん
tanpe hemanta an tanpe hemanta an
- 13 [……] こ「れわ タ 「ア^ㇿ ンペが タ^ㇿ ンペにな「りま^ㇿ すねー
これは ta anpe が tanpe になりますね。
- 14 たん た^ㇿ「 あん「ペ^ㇿ ガ た「ば^ㇿ ん「ペ^ㇿ ニ
tan tap anpe が tapanpe に

- 01 ナ「リマ」スネー た「んぺへ「ま」んたあーん ソ「シ」タラ
なりますね。 tanpe hemanta an そしたら
- 02 コ「コ」ノワ た「ば」んぺ へ「ま」んたあーん トユーフーニ
ここのは tapanpe hemanta an というふうに
- 03 ユ「ーンデ」スネ イ「イカ」「イ イ「チ
言うんですね。 いいかい。 ー
- 04 た「んぺへ「ま」んたあーん オイツ「ショ」ニイ「イマ」スヨ
tanpe hemanta an を一緒に言いますよ。
- 05 た「んぺへ「ま」んたあーん [……] ウン
tanpe hemanta an うん。
- 06 へ「ま」んた トユ「ーノワ ナ「ンデスカ コ「レ」ワ
hemanta というのは何ですか。 これは
- 07 ナンデ「スカー た「あ」んぺへ「ま」んたあーん
何ですか。 taanpe hemanta an
- 08 コ「レ」ワ メ「ガ」ネノカ「ワ コ「レ」ワ メ「ガ」ネト
これは眼鏡のかわ これは眼鏡と
- 09 ユーフーニ ユーフケダネ「ー た「あ」んぺへ「ま」んたあーん
いうふうに言うわけだね。 taanpe hemanta an
- 10 エ「ンピツ」トユーワ「ケダネ イ「イデス「カー イ「チバンウエ
鉛筆というわけだね。 いいですか。 一番上
- 11 イイマ「スヨ た「んぺへ「ま」んたあーん [……]
言いますよ。 tanpe hemanta an
- 12 「たプ あん「ペ」ガ た「ばん」ペニナ「リマ」スヨ
tap anpe が tapanpe に なりますよ。
- 13 た「ばん」ペへ「ま」んたあーん [……]
tapanpe hemanta an
- 14 た「ば」んぺへ「ま」んたあーん [……] ウーン ソーネ
tapanpe hemanta an ううん。 そうね。

- 01 コ「レワイ「エ」デスヨート ユーフーニ ソ「ノ」シタ
これは家ですよというふうに。 その下
- 02 ニ ニ「ノトコ ヤ「リマ」スヨ コ「レワイ「エデ」ス
二の所 やりますよ。 これは家です。
- 03 た「んぺあ「なク」ね ちせつ [……]た「んぺあ「なク」ね ちせつ
tanpe anak ne cise tanpe anak ne cise
- 04 [……] オー「ソ」ーネー ち「せ」ワ ち 「セック
おお、そうね。 cise は ci sek
- 05 ア「タクシタチノネド「コ」トユーコ「トデ オ「ボエマ」シタネ
私たちの寢床ということで 覚えましたね。
- 06 コ「レワア「タクシノモノデス た「んぺあ「なク」ね
これは私のものです。 tanpe anak ne
- 07 くっブ く「ころ」ペねトユーフーニ エー ア「リマ」スヨ
kup kukorpe ne と いうふうに ありますよ。
- 08 こ「ろワモ」ツ ペ「ワモ「ノ」ネ ウーン イ「イデスカ
kor は持つ。 pe は物ね。 ううん。 いいですか。
- 09 た「んぺ あ「なク」ね ちせツ [……] た「んぺあ「なク」ね
tanpe anak ne cise tanpe anak ne
- 10 ち「せツ [……] ウーン イチ「バ」ンシ「タ」エ
cise ううん。 一番 下へ
- 11 イ「キマ」スヨー コ「レワア「タクシノモノデス
いきますよ。 これは私のものです。
- 12 た「んぺあ「なク」ね く「ころ」ペね [……] ウーン
tanpe anak ne kukorpe ne ううん。
- 13 た「んぺあ「なク」ね く「ころ」ペね [……] アー ス「ゴ」イ
tanpe anak ne kukorpe ne ああ、すごい。
- 14 ヨ「クデ「キルナー イ「イカイモイチド ウ「エカライ「クゾー
よく出来るなあ。 いいかい。もう一度。 上からいくぞ。

- 01 た「んぺへ「ま」んた「あーん」〔……〕
tanpe hemanta an
- 02 た「んぺへ「ま」んた あーん 〔……〕 ニ「バンメ」
tanpe hemanta an 二番目
- 03 た「ぱんペトユ」ーノ 「たプ」あ「ん」ペ「ガ」 た「ぱん」ペニ
tapanpe というの。 tap anpe が tapanpe に
- 04 ナ「リマ」スヨ た「んぺ」 「たプ」あ「んぺ」 た「ば」んぺ
なりますよ。 tanpe tap anpe tapanpe
- 05 イッ「ショニ」ズッ「ト」イイ イ「イデ」スカ た「んぺ」〔……〕
一緒に ずっと いいですか。 tanpe
- 06 「たプあ」んぺ 〔……〕 た「ば」んぺ 〔……〕 ソー
tap anpe tapanpe そう、
- 07 ココデ「ア」ルモノ コ「レ」ユーコ「ト」ネ た「んぺ」ハイ
ここで有る物。 これと いうことね。 tanpe はい。
- 08 〔……〕 「たプあ」んぺ 〔……〕 た「ば」んぺ 〔……〕
tap anpe tapanpe
- 09 た「ば」んぺ 〔……〕 コ「レワナンデ」スカトユーネー
tapanpe これは何ですかと言うね。
- 10 ハ「イコ」レワ イ「エーデ」ス た「んぺあ」なク「ね」ち「せっ」
はい、これは家です。 tanpe anak ne cise
- 11 〔……〕 た「んぺあ」なク「ね」ち「せっ」 〔……〕
tanpe anak ne cise
- 12 た「あんぺへ「ま」んた「あーん」 〔……〕 ネー
tanpe hemanta an ねえ
- 13 イ「イデスカ」サ「ンバンメ」コ「レワ」ア「タクシノモノデ」ース
いいですか。 3番目 これは 私の物です。
- 14 た「んぺ」あ「なク」ね く「ころ」ペね 〔……〕
tanpe anak ne kukorpe ne

- 01 た「んぺあ「なク」ね く「ころ」ぺね {……} ウーン
tanpe anak ne kukorpe ne ううん。
- 02 コ「レ」ワア「タク」シノモ「チモノデ」スヨ「ユート」キニ
これは私の持ち物ですよと言うときに
- 03 ソー「ユーン」デスネー こ「ろ」ペトユ「ー」ノワ モ「ツ」モ「ノ」ネ
そう言うんですね。 korpe というのは 持つものね。
- 04 こ「ろ」ワモ「ツ」ペ「ワ」モ「ノ」イ「イ」デスネ モ「ツ」モ「ノ」ネ
kor は 持つ。 pe は物。 いいですね。 持つ物。ね。
- 05 ハイ モーイ「チド」ウ「エカライ」キマース
はい、もう一度 上からいきます。
- 06 た「ん」ぺへ「ま」んた「あーん」{……}
tanpe hemanta an
- 07 た「ん」ぺへ「ま」んた「あーん」{……}
tanpe hemanta an
- 08 た「ん」ぺ た「たプあ」んぺ {……} た「ば」んぺ {……}
tanpe ta tap anpe tapanpe
- 09 ハイ ソ「ノギョ」ー モーイ「チド」ア「タマ」カラ
はい、その行 もう一度 頭から
- 10 イ「キマ」スヨ た「ん」ぺ {……} 「たプあ」んぺ {……}
いきますよ。 tanpe tap anpe
- 11 た「ば」んぺ {……} ソーネ 「たプあ」んぺが た「ば」んぺニ
tapanpe そうね。 tap anpe が tapanpe に
- 12 ナリ「マ」スヨトユーコ「ト」ソレ ナン「カ」イモイッテ
なりますよということ それ 何回も 言って
- 13 オ「ボエ」テオ「キマ」ショーネ た「ん」ぺあ「なク」ねち「セッ」
覚えておきましょうね。 tanpe anak ne cise
- 14 {……} た「ん」ぺあ「なク」ねち「セッ」{……}
tanpe anak ne cise

- 01 た「んぺあ」な「ク」ね く「ころ」ぺね {……}
tanpe anak ne kukorpe ne
- 02 た「んぺあ」な「ク」ね こ「ころ」ぺね {……} ウーン
tanpe anak ne kukorpe ne ううん。
- 03 イ「チバ」ンシタ こ「ろ」ぺ {……} こ「ろ」ぺ {……}
一番下 korpe korpe
- 04 モ「ツモ」ノ ア「タシモ」ツモ「ノダ」ラ こ「ころ」ぺ
持つ物。 私 持つ物なら kukorpe
- 05 ア「ナ」タモ「ツモ」ノナ「ラ」 え「ころ」ペニナ「リマ」スヨト
あなた持つ物なら ekorpe になりますよと。
- 06 ソレデ「ワ」キョ「ー」ワ コ「レデ」オ「ワリマ」ショー
それでは 今日は これで終わしましょう。
- 07 すィ「う」ぬ「から」あんろー
suy unukar an ro

11月26日

- 08 オ「ハヨーゴザイマ」ス カ「ヤ」ノシ「ゲルデ」ス
お早うございます。 萱野茂です。
- 09 ジューイ「チ」ガツ ニ「ジューロクニ」チ ユ「キガ」
十一月 二十六日 雪が
- 10 チ「ラチ」ラフ「リマ」スガ ミナ「サ」ンノ チ「ホー」ワ
ちらちら降りますが、 皆さんの 地方は
- 11 イ「カガデショ」ーカ ビ「ラト」リワ ユ「キ」ノ
いかがでしょうか。 平取は 雪の
- 12 ス「クナイトコデ」ス エー キョ「ー」ワ セ「ン」シューニ
少ない所です。 今日は 先週に
- 13 ツ「ズキマ」シテ ア「カ」チャンガウ「マレタ」ソ「レ」ニ
続きまして 赤ちゃんが生まれました。 それに

- 01 ナ「マエオツ」「ケ」ルバ「アイ」ド「ーユー」ツ「ケカ」タオ
名前をつける場合 どういう 付け方を
- 02 シタデショー「カ」 ソ「ノヘ」「ンオ」サ「イショ」ニ「チョッ」ト
したでしょうか。 そのへんを 最初に ちょっと
- 03 オ「ハナシ」オシテイキ「タ」イトオ「モイマ」ス「ア」イヌノ
お話をしていきたいと思います。 アイヌの
- 04 ム「ラ」デ「イ」「マワ」アー「ラジ」「オ」オ「キキニナッ」テイル
村で 今は ラジオを お聞きになっている
- 05 ミ「ナ」サント「マッ」「タク」カ「ワ」リア「リマセ」ンケレド「モ」
皆さんと 全く 変わりありませんけれども
- 06 フルーイジ「ダイニ」ワ「コ」「ドモガウ」「マレテ」ソ「ノコドモガ」
古い時代は 子供がうまれて その子供が
- 07 カクジ「ツ」ニ「イ」「キノビテ」オ「トナニナ」「レ」ルトワ
確実に 生き延びて 大人になれるとは
- 08 カ「ギリマセ」ンデシタ「フルイジ」「ダ」「イワ」「イ」「ロイロナ」
かぎりませんでした。 古い時代は 色々な
- 09 コ「ト」デ「セー」「カツカン」「キョ」ーモ「ヨ」クア「リマセ」ン
ことで 生活環境も よくありません。
- 10 ソ「レデ」コ「ドモ」タチガ「コ」ー「タ」「ンジョースギ」テ
それで 子供たちが こう 誕生過ぎて
- 11 ヨ「チヨチア」「ルキ」ソ「レカラ」ハ「シッテア」「ル」ク
よちよち歩き それから 走って歩く
- 12 ニ「サイサンサ」イ「ソ」「ノグラ」イニナッ「テ」ソ「ノ」
二歳三歳 そのぐらいになって その
- 13 コ「ドモ」タチガ「ウー」「ア」ーモ「ダ」「イジョーブダ」ト「コ」「レデ」
子供たちが ああもう 大丈夫だと これで
- 14 エー「ナ」「ガイ」キシテク「レル」ト「ソー」「ユーフ」ーニ
長生きしてくれると そういうふうに

- 01 コ「ドモノ オー ケ「ンコージョータイト」カ ソ「レオ ミ」テ
子供の 健康状態とか それを見て
- 02 ハ「ジメ」テ セー「シキニ ナ「マエオツ「ケル トユ」ーノ」ガ
初めて 正式に 名前をつけるというのが
- 03 ア「イヌノ ムラデ」ノ ヤ「リカタデアリマ」シタ ソ「レデ
アイヌの村での やり方でありました。 それで
- 04 ウーソ コ「ノムラデ」ノ ジ「ツレーオ ナン「ニン」カ
この村での 実例を 何人か
- 05 コ「ー ア「ゲナガ」ラ ウー ナ「マエオツ「ケル アイヌゴ「デ
こう挙げながら 名前をつける アイヌ語で
- 06 ナ「マエオツ「ケ」ルコトオ 「れ」これ れ「トユーノワ
名前をつけることを rekore reというのは
- 07 ナマ「エ こ「れトユ」ーノワ ア「ゲル」トユーコ「ト
名前 kore というのは あげるということ
- 08 ソ「ノ コ「ドモニ ナ「マエオアゲル」トユーイ」ミデス メー
その 子供に 名前をあげるという意味です。
- 09 メ「イメイデ」ス「ネ ナ「マエオツ「ケ」ル ソ「ノハナシ」オ
命名ですね。 名前をつける。 その話を
- 10 ス「スメマ」ス デー ジューネン「ホ」ドマ「エニ
進めます。 で 十年ほど前に
- 11 ナ「クナツ」タ カ「イ」ザワとウ「るしのサ」ントユー
亡くなった 貝沢 turusino さんという
- 12 オバーサンガオ「リマシタ コ「ノオバ」ーサン ナ「マエ」ワ
おばあさんがおりました。 このおばあさん 名前は
- 13 とウ「る」しの とウ「る」しの ウー ナ「ゼ ソーユー
turusino turusino なぜ そういう
- 14 ナ「マエオツ「ケ」タカトイ「エ」バ とウル「トユ」ーノワ
名前をつけたかといえは tur というのは

- 01 ア「カデ」ス テ「アカ」ノア「カ ソノ ウー ソノ
垢です。 手垢の垢 その その
- 02 テ「ニツクア「カデ」スネ 「とうる う」しの ア「カ」ツク
手につく垢ですね。 tur usino 垢つく
- 03 タク「サ」ンア「カ」ツイテイル コ「ドモ」トユー ナ「マエオ
たくさん垢ついている 子供という 名前を
- 04 ツ「ケマ」シタ「ネ ナ」ゼ ソーユーツ「ケタ」カトイエ「バ
つけましたね。 なぜそういう（ふうに）つけたかといえ
- 05 コ「ノ とうるしのサンニ」ワ タ「クサン」ノ
この turusino さんには たくさんの
- 06 キョー「ダ」イガイ「テ ウ「エ オ「トコノコ」モ
兄弟がいて 上（に）男の子も
- 07 オ「シナノコ」モ ウ「マレルン」デスケドモ
女の子も 生まれるんですけども
- 08 ツ「ギカラツ「ギ」ト ビョーキデ ナ「クナツタ
次から次と 病気で 亡くなった。
- 09 コノコ「ドモ」ワ とウ「るしの」トユーナ「マエオツ「ケヨ」ー
この子供は turusino という名前をつけよう。
- 10 ア「カツ」イテイルトユーナ「マエオ ツ「ケレバ
垢ついてるという名前を つければ
- 11 バ「ケモ」ノモ マ「モノ」モ キ「タバガッ」テ モッ「テ
化物 魔物も きたながって 持って
- 12 イカナイダ「ロー ソース「レ」バ ナガイシテ
いかないだろう そうすれば
- 13 ナ「ガイ」キシテクレル トユーワ「ケデ とウ「るしのトユー
長生きしてくれるというわけで turusino という
- 14 ナ「マエオツ「ケマ」シタ マ「ー ソノナ「マエノ
名前をつけました。 まあ、 その名前の

- 01 オ「カゲダッ」タンデショー「カ オ「バー」サン
おかげだったんでしょうか。 おばあさん（は）
- 02 キュージッサイス「ギ」マデ ナ「ガイ」キオシテ ア「タシナ」ンカ
九十歳過ぎまで 長生きをして 私なんか
- 03 ズ「イブ」ン ア「イヌゴ」オ オ「シエテモ」ラッタ ワ「ケ」デ
随分 アイヌ語を 教えてもらったわけで
- 04 ア「リマ」ス ソ「レデ」ツ「ギ」ワ チ「チオヤノナ」マエ」オ
あります。 それで次は 父親の名前を
- 05 イ「イマ」ス ワ「タシノチチオ」ヤ」ワ あ」れクあ」いぬ ト
いいます。 私の父親は arek aynu と
- 06 ユーヒ「ト」デシタ あ」トユーノワ スワ「ル」れツク」ト
いう人でした。 a というのは 座る rek と
- 07 ユ」ーノワ サ「エズ」ルトユーイ」ミデス シテ
いうのは さえずるという意味です。 そして
- 08 あ」いぬトユ」ーノワ ニンゲ「ントユ」ーイ」ミデス シテ
aynu というのは 人間という意味です。 そして
- 09 あ」れクあ」いぬワ ソ「ノ」ウ「エニ」オ「ンナ」ノコガ
arek aynu は その上に 女の子が
- 10 「アネ」ガ ロ「クニ」ンモ イ「マ」シタ ソ「レデ」ソ「ノ」
姉が 六人もいました。 それで その
- 11 ウー ア「ネガ」ロ「ク」ニンモイ「ルノ」デ コ「ノオトコノ」コワ
姉が 六人もいるので この男の子は
- 12 ソ「トシ」ゴトシ「ナ」クテモ「イ」イカラ ユーベ」ンナ
外仕事をしなくてもいいから 雄弁な
- 13 コ「ド」モニ ナ「リナサ」イ トユ」ーコトデ オ「ヤ」タチワ
子供になりなさいということで 親たちは
- 14 コ「ノオトコ」ノコ ツ「マリ」カ「ヤ」ノシ「ゲル」ノ
この男の子 つまり 萱野茂の

- 01 チ「チオヤニ」ワ あ「 れクあ「 いぬ あ「 トユ ーノワ
父親には a rek aynu a というのは
- 02 ス「ワ」 ッテイルトユーコ「 ト れク「 トユーノワ サ「エズ」 ルト
座っているということ rek というのは さえずると
- 03 ユーイ「 ミデス コ「トリ」 ガサ「エズ」 ルノ サ「エズ」 ル
いう意味です。 小鳥がさえずるの さえずる。
- 04 あい「ぬ」ワ シ「ト オ「トコ」 トユーイ「 ミデス
aynu は人。 男という意味です。
- 05 ス「ワッテサ「エズルシト ス「ワッ」 テシャ「ベレ」 ルシ「ト
座ってさえずる人。 座ってしゃべれる人。
- 06 「ユーベ」 ンナシ「ト」 ニナッ「テク「ダ」 サイ ソーユーコ「トデ
雄弁な人になってください。 そういうことで
- 07 あ「 れクあ「いぬ」 トユ ー ナ「マ」 エオツ「ケマ」 シタ
arek aynu という 名前をつけました。
- 08 ソ「レ」 カラ ア「タクシノオ「バー」 サン ヤ
それから 私のおばあさんや
- 09 オ「バー」 サンデナクテ オ「ジー」 サン 「とウク」 からむトユ「 ー
おばあさんでなくて おじいさん tukkaram と
- 10 シ「ト」 デシタ コ「ノとウク」 からむ トユ「 ーノワ とウク」 ト
いう人でした。 この tuk karam というのは tuk と
- 11 ユ「 ーノワ ソ「ダツトユ」 ーイ「 ミデス か「 トユ」 ーノワ
いうのは育つという意味です。 ka というのは
- 12 ウ「エ」 トユ「 ーイ」 ミデス ら「むトユ」 ーノワ オ「モイ」 ト
上という意味です。 ram といのは 思いと
- 13 ユ「 ーイ」 ミデス ツ「マリ タ「クサ」 ン シ「ソ」 ンガ
いう意味です。 つまり たくさん子孫が
- 14 ハ「ンエーシテクレルヨ」 ーニトユ「 ー ソーユー「イ」 ミデ
繁栄してくれるようにという そういう意味で

- 01 コノとウク「から「む」 トユ」ー ナ「マエオ ツ「ケ」 タンデスネ
この tukkaram という 名前を つけたんですね。
- 02 ソ「レデ ア「タシノセ「ンゾ とウク「からむ ソ」 シテ
それで 私の先祖 tukkaram そして
- 03 ソ「ノとウク「からむノツ「レアイ ワ「タシノ オ「バー」 サン
その tukkaram の つれあい 私の おばあさん
- 04 デスケド 「て」 かつ「てトユ」ーナ「マ」 エ コ「レ」 モ
ですけれど tekakte という名前。 これも
- 05 オ「バーサン モ「チ」 ロン オ「ンナ」 デスケド
おばあさん 勿論 女ですけど
- 06 て「 トユ」ーノワ てク「ワ サキ セ「ン」 シュー
te というのは tek は 先週
- 07 ナ「ライマ」 シタ「ネ テ」 ノコトデス あク「てトユ」ーノワ
習いましたね。 手のことです。 akte というのは
- 08 フ「エル アーッ コ「ノオンナノコ」 ガウ「マレタ」 ンデ
増える。 ああっ この女の子が生まれたんで
- 09 マ「ダ ハ「タラキテ」 ガフ「エマ」 シタヨ
また働き手が増えましたよ。
- 10 てク「あク「てトユ」ーナ「マ」 エ ソ「レオツ「ズケテユート
tek akte という名前 それを続けて言うと
- 11 て「 かくてトナ「ル」 ンデス ソー「ユーコ」 トデ
tekakte となるんです。 そうゆうことで
- 12 ワ「タシノオバー」 サンワ て「 かくて トユーワ」 ケデ
私のおばあさんは tekakte というわけで
- 13 ソ「ノチカク」 デイタ とウ「ななしり」 トユー オト オ「ジ」ーサン
その近くにいた tunanasiri という おじいさん(を)
- 14 オ「ボエ」 テイマス コ「ノシトワ コ「ドモノト」 キナ「カナ」 カ
覚えています。 この人は 子供の時 なかなか

- 01 セ「イチョーシ「ナイ」ノデ とウ「ななしり」トユーノワ
成長しないので tunanasiri というのは
- 02 とウ「まま カ「ラダガ」トユーイ」ミ あ「しトユ」ーノワ
tumama 身体がという意味 asi というのは
- 03 オー「キ」クナル り「トユ」ーノワ タ「カ」クナ「ルトユーコ」ト
大きくなる。 ri というのは 高くなるということ。
- 04 とウ「まま あ「しりトユーナ「マエガ シャ「べ」ル「ト」キニワ
tumama asiri という名前が しゃべる時には
- 05 とウ「ななしり」ニ ナ「ルン」デスネ ホ「ントーノナ「マエ」ワ
tunanasiri に なるんですね。 本当の名前は
- 06 キ「バタタイロクトユー オ「ジー」サンデシタケドモ ソーユー
きばたたいろくという おじいさんでしたけれども そういう
- 07 シ「ト」モ シッテイ「マ」ス ソ「ンナコ」トデ ウーン
人も知っています。 そんなことで
- 08 ナ「マエオツ「ケ」ルバ「アイデ」モ ト「テモ アノ カンガエテ
名前をつける場合でも とても 考えて
- 09 エー ム「カ」シノオ「ヤタチワ ソ「ノコドモニ ソ「レゾレ」ノ
昔の親たちは その子供に それぞれの
- 10 キ「ボーオタ「クシ」テ アノー アレシ ナ「マエオ
希望を託して 名前を
- 11 ツ「ケタワケ」デスネ ソ「レデ ナ「マエモツ「ケマ」シタ
つけたわけですね。 それで 名前もつけました。
- 12 マ ナ「マエオツ「ケル グラァ」ーニナ」ルト
まあ 名前をつけるぐらいになると
- 13 ア「カチャ」ンノコト ドーユーコト ユ「ーカト オ「トコノコデ
赤ちゃんのこと(を)どうということ いうかと(いうと)男の子で
- 14 ア「レバ ハ「シッ」テア「ル」クグライノ コ「ドモニ
あれば 走って歩くぐらいの 子供に

- 01 ナ「レバ」ヘ「かち」ヘ「かち」トユ「ーノワ」ダ「イタ」イ
なれば hekachi hekachi というのは 大体
- 02 イ「ツツカ」ラ ジュ「ーニ」サ「ン」ソ「シテ」ジュ「ーニ」サ「ンス」ギタラ
五つから 十二、三 そして 十二、三過ぎたら
- 03 ヘ「かちおっ」かいぼ オー ショ「ネンデア」リ ワ「カモノダ」トユー「ヨーナ」
hekaci okkaypo おお！ 少年であり 若者だよというような
- 04 ヘ「かちおっ」かいぼ ソ「レカラセー」ネ「ンニナ」ルト おっ「かいぼ」
hekaci okkaypo それから成年になると okkaypo
- 05 ワ「カモノ」トユー「フーニイ」イマス ソ「レカラ」オ「ンナ」ノコデア「レ」バ ウン
若者というふうに言います。 それから 女の子であれば
- 06 イ「チバンチー」サ「イノワ」まっ「かち」オ「ンナ」ノコ ソ「レ」カラ お「べ」れ
一番小さいのは matkaci 女の子。 それから oper
- 07 ヤッ「パ」リ オ「ンナ」ノコ ソ「シテ」め「のこぼトユ」ーノワ
やっぱり 女の子。 そして menokopo というのは
- 08 ム「スメ」ニナッ「タ」トユー ヤ「ヤ」イ「チニンマエニ」ナッ「テキ」タム「スメ」ノコ「トオ」
娘になったという やや 一人前になってきた娘のことを
- 09 め「のこぼ」 トユー「フーニ」イ「イマ」ス ソーユー「コト」デ ウン
menokopo というふうに 言います。 そういうことで
- 10 ショ「ネンカ」ラ ショ「ジョ」ソレゾレ イロイ「ロ」ナ コー セー「チョーカテ」ーデ
少年から 少女 それぞれ 色々な こう成長過程で
- 11 ヨ「ビカタ」ガ チ「ガッテイッタワケ」デス ソ「レデ」ワ キョ「ーノ」
呼び方が 違っていたわけです。 それでは 今日の
- 12 ベ「ンキョーノホ」ーエ ウン ハ「イリマ」ス ……中略……
勉強の方へ 入ります。
- 13 チョ「ット」ミ「ナサ」ンノオ「ミニ」ト「ドク」デショ「カ」ア「メ」ノオ「ト」
ちょっと 皆さんのお耳に 届くでしょうか。 雨の音
- 14 ア「ラレ」ノオ「ト」ガ キ「コエ」ルデショ「カ」ア「メ」ノコトオ ア「イヌゴ」デワ
あられの音が 聞こえるでしょうか。 雨のことを アイヌ語では

- 01 あづ と ア「メ」ノオトガスル あづ と ふム あし あづ と ふム あし
apto 雨の音がする apto hum as apto hum as
- 02 ア「メ」ノオ「ト」ガスル ア「ルイ」ワ ア「ラレ」ノオ「ト」 かウ「カウ」 ふム あし
雨の音がする あるいは あられの音 kawkaw hum as
- 03 かウ「カウ」 ふム あし ア「ラレ」ノオ「ト」ガスル トユ「フーニ」 ア「メ」ノオ「ト」
kawkaw hum as あられの音がするというふうに 雨の音
- 04 ア「ラレ」ノオ「ト」オ ソ「ノヨ」ニ ユンデスヨ チョ「ット」 ア「ラレ」ガフツ「タ」リ
あられの音を そのように いうんですよ。 ちょっと あられが降ったり
- 05 ア「メ」ガフツ「タ」リ ミ「ナ」サンノ オ「ミニ」 ト「ドイ」テイルデショー
雨が降ったり 皆さんの お耳に 届いているでしょう。
- 06 あづと ア「メ」ノオト あづと ア「メ」ノオト ア「ラレ」ノオ「ト」 かウ「カウ」 ふム
apto 雨の音 apto 雨の音 あられの音 kawkaw hum
- 07 ア「ラレ」ノオ「ト」 かウ「カウ」 ふム ……中略……
あられの音 kawkaw hum
- 08 ジューイ「チガ」ツニ「ジュ」ーロ「クニ」チトナ「レバ」 エー サ「ルガ」ワ ソ「ノム」カ「シ」ワ ウー
十一月二十六日となれば 沙流川 その昔は
- 09 シャ「ケ」ガ タクサンデ「テ」キテ モー サン「ラン」モ オ「ワッ」テ ソ「シ」テ
鮭が たくさん出てきて もう産卵も 終って そして
- 10 ソ「レ」オタクサンア「ツメ」テ セ「ワリ」オ「シ」テヒ「ラ」イテ フ「ユ」ノタ「メ」ニ
それをたくさん集めて 背割りをして開いて 冬のために
- 11 ホ「ゾンスル」トユ「ーノ」ガ コ「ノキ」セ「ツ」ニ ナ「ル」ンデスネー ……
保存するというのが この季節に なるんですね。

12月3日

- 12 オ「ハヨーゴザイマ」ス カ「ヤ」ノシ「ゲルデ」ス ジューニ「ガ」ツミツ「カ」 エート
お早うございます。 萱野茂です。 十二月三日。 ええと
- 13 セン「シュ」ーニ ツ「ズキマ」シテ キョ「ーワ」 ア「カチャ」ンノハ「ナシ」オ
先週に 続きまして 今日 赤ちゃんの話

- 01 ツ「ズケル」コ「トニシ」マショ「ー ヌー ア「カチャンノコト ア「カチャンガウ「マレル」ト
続けることにしましょう。 赤ちゃんのこと 赤ちゃんが生まれると
- 02 ム「ラデ」ワ ホ「ントー」ニ ミ「ン」ナデ ヨ「ロコビマ」シタヨネ ソ「レ」ワ
村では 本当に みんなで 喜びましたよね。 それは
- 03 イ「マモム」カシ「モ カ「ワリ」ワア「リマ」セン ソ「レデ」ウーン ワ「タシガ」
今も昔も 変わりありません。 それで 私が
- 04 コ「ドモノコ」ロ ショー「ワ ゴ「ネン ジュー「ネン ソ「ノト「キ」ニ オ「トート」ガ
子供の頃 昭和 五年 十年 その時に 弟が
- 05 ト「テモ ヨ「ナキスルオ「トート」ガ イ「マ」シタ ケ「ンスケトユー コ「ドモデ」シタケド
とても 夜泣きする弟が いました。 けんすけという 子供でしたけれど
- 06 マー ヨ「ルデモ ナ「クモ」ンデスカラ ハハワ ソ「ノケンスケ」オ
まあ夜でも 泣くものですから 母は そのけんすけを
- 07 セ「ナ」カニオ「ブツ」テ ソ「シテ アノー オ「ーカワデ ト「センバ ワ「タシモ」リノ
背中におぶって そして 大川で 渡船場 渡し守りの
- 08 オ「ジー」サンフーフガ イ「マシ」タ イマカン「ガエ」ルト オ「ジーサ」ント
おじいさん夫婦が いました。 今考えると おじいさんと
- 09 ユ「ーフーニ オ「モイマ」スガ キッ「ト ヨン「ジュ」ーダイグ「ラ」イノ
いうふうに と思いますが きっと 四十代ぐらいの
- 10 ゴ「フーフ」デアツタンデワ ナ「インダ」ローカ ソ「ンナフ」ーニ オ「モイマ」スガ
ご夫婦であったんでは ないんだろうか。 そんなふうに と思いますが
- 11 い「そののあ」しゅ トユーシ「ト」ト れ「すのてツク」 トユー ゴ「フ」ーフデシタ
isonno as という人と resunotek という ご夫婦でした。
- 12 い「そののあ」し トユ「ーノワ カ「リノジョー「ズ」ナシト れ「すのてツク」 トユーノワ
isonnoas というのは 狩りの上手な人 resunotek というのは
- 13 コ「ドモオタ「クサ」ン ソ「ダテレ」ル「テ」トユーフーニ ナ「マエオツ「ケ」テイマシタ
子供（を）たくさん育てられるというふうに 名前をつけていました。
- 14 ソノオ「ジ」ーサン アノー カ「ワえ」か カ「ワ」ニイルえ「か」し ツ「マリ
そのおじいさん 川 eka 川にいる ekasi つまり

- 01 カ「ワバンえ「か」し ツマ エー ト「セン ワ「タシ」モリオ シテイルシ「トデ」スカラ
川番 ekasi 渡船 渡し守りを している人ですから
- 02 カ「ワ」ニイルえ「か」し トユーンデ リャ「ク」シテ カ「ワえ」か カ「ワえ」かトユーフニ
川にいる ekasi というんで 略して 川 eka 川 eka というふうに
- 03 ワ「タシ」モ ア「ル」イワ ホ「カノ オト オ「トナ」タチモ イッ「テイマ」シタ ソ「コエ
私も あるいは 他の 大人たちも いていました。 そこへ
- 04 ヨ「ナキオスルコ」ドモオ ハ「ハオヤワ ハ「ハ」ワ オ「ブッ」テ エー オ「トード」デアル
夜泣きする子供を 母親は 母は おぶって 弟である
- 05 ワ「タシ」ワ イッ「ショニ イ「ク」 トユークト ソ「レデ イ」マノ
私は 一緒に 行くということ。 それで 今の
- 06 ニ「ブタ」ニノファ「ミリーラ」ンドトユー タ「テモ」ノアル ソノシ「タノホ」ーデ
二風谷のファミリーランドという 建物(が)ある その下の方に
- 07 オ「ジー」サンタチガイ「テ ソ「コエヨ」ク イッ「タキ「オク」ガ ア「リマ」ス
おじいさんたちがいて そこへよく行った記憶が あります。
- 08 ソース「ルト マ「ルキリ オ「イシャサンノトコエデ」モ イッ「タヨ」ーニ
そうすると まるで お医者さんのところへでも 行ったように
- 09 オ「ジー」サンタ「チ」ワ ネ「テイタ」ノオ オ「キテ イ「ヤナカ「オモシナイ」デ
おじいさんたちは 寝ていたのを 起きて 嫌な顔もしないで
- 10 オ「ハライオ シ「テクレテ オ「マジナイオシ「テクレテ カ「エッテキタ
御祓いを してくれて おまじないをしてくれて 帰ってきた。
- 11 ソンナコ「ト」デ ア「タクシガ ケー「ケン」シテイル イ「ロイロ」ナコトワ
そんなことで 私が 経験している いろいろなことは
- 12 ホ「ンデヨ「ンダト」カ ソー「ユークト」デワナ「クテ ジ「ブンノセー「カツニ ノ
本で読んだとか そういうことではなくて 自分の生活に の
- 13 ナ「カニ アッ「タコト「オ ツ「ギカラツ」ギト ミナサ「マニ
中に あったことを 次から次と 皆さまに
- 14 キ「イテイ「タダイテイ「ルワ「ケ」デア「リマ」ス ソ「レデ ア「カ」チャンニ
聞いていただいているわけであります。 それで 赤ちゃんに

- 01 オ「モチャガア「リマ」シタ オ「モチャ」ノコト ア「イヌゴ」デ 「てク」こっぺト
玩具がありました。 玩具のこと アイヌ語で tekkokpe と
- 02 イ「イマ」ス 「てク」こっぺ テ「ニツ」クモ「ノ ザ「イリョ」ーワ 「ハン」ノキ「オ
いいです。 tekkokpe 手につく物。 材料は ハンの木を
- 03 ヒョ 「ータン」ガタ「ニ キッ」テ ソ「レオア「ズケマ」ス ソー「ス」ルト ソノ
ひょうたん形に 切って それをあずけます。 そうすると その
- 04 「てク」こっぺオ ア「カチャン」ワ ガ「リガ」リ ガ「ジリマ」ス ハ「ンノキ」トユ「ーノワ
tekkokpe を 赤ちゃんは がりがり かじります。 ハンの木というのは
- 05 アイヌゴデ ケム「「ね チ「ニナ」ル「キ ゾ「ーケツサ「ヨ」ーガ ア「ル トユ」ーコ「トデ エー
アイヌ語で kem ne 血になる木 造血作用が ある ということで
- 06 ソ「ノオ」モチャモ タ「ダカ」ジッテ「モ ソ「レデ ビョ」アノ
その玩具も ただかじっても それで
- 07 ク「ス」リニナ「ルトユ」ーモノオ ア「カチャン」ニ ア「ズケ」テ イタワ「ケ」デア「リマ」ス
薬になるというものを 赤ちゃんに あずけて いたわけであります。
- 08 ソ「ンナコ」トデ アノ コノ ア「カチャン」オ コ「モ」リスルノニモ イ「ロイロ」ナ
そんなことで 赤ちゃんを 子守りするのにも 色々な
- 09 ヤ「リカタ」ガ アリマシタ い「えおまっぷ」 トユーノガ ア「リマ」シテ ア「タマ」ニ
やり方がありました。 eomap というのが ありまして 頭に
- 10 ヒ「モオカ」ケテ ウ「シ」ロエ タ「ラ」シテ ヨ「コボー」オ イッ「ポンツ」ケ「テ
紐をかけて 後ろへ 垂らして 横棒を 一本つけて
- 11 ア「リマ」ス ナ「ンノコトナ」イ イ「マヨ」ーデイ「エ」バ ブ「ランコ」ノヨ「ーナモ」ノ「デ
あります。 何のことない 今様にいえば ぶらんこのようなもので
- 12 ブ「ランコ」ノサ「キ ア「タマ」エ カ「ケ」ル ウ「シロ エ シ「リカ」ケ「ルトコ オ「ク
ぶらんこの先 頭にかける。 後ろに 尻をかける ところを置く。
- 13 ソース「ル」ト ハ「ハオヤ」ワ キ「モノ」オ ウ「シロ」エ バ「ーットヒ「ロゲ」ル ソ「コエ
そうすると 母親は 着物を 後ろへ ばあっと広げる。 そこに
- 14 ア「カチャン」オイ「レ」テ ソ「ノい「えおまっぷ」オ オ「イテ ア「カチャン ブ「ランコ」ニ
赤ちゃんを入れて その eomap を 置いて 赤ちゃんを ぶらんこに

- 01 ノ「タヨ」ーナカ「タチ」デ アノ ウ「シロ」ニ セ「ナカ」ニイルトユ「ー」ノガ ム「カシノ
乗せたような形で あの後ろに 背中にいるというのが 昔の
- 02 コ「モリ」ノヤ「リカタ」デ アッ「タ」ワ「ケ」デア「リマ」ス ソ「レ」ノコトオ
子守りのやり方で あったわけでありませう。 それのことを
- 03 い「えおまっ」ぷトイ「イマ」ス ソ「レ」デア「カ」チャンオ カ「ワイガ」ルモノ
eomap といいます。 それで 赤ちゃんを かわいがるもの
- 04 イ「クジヨーグ」ノ シ「ト」ツデア「リマ」ス ソ「レ」デアノー コ「モリウ」タガ
育児用具の 一つであります。 それで 子守歌が
- 05 ア「リマ」スネ コ「モリウ」タノコ「ト」オ コ「ノ」サ「ルガワア」イヌワ
ありますね。 子守歌のことを この 沙流川アイヌは
- 06 い「おんのっ」かトイ「イマ」ス い「おんのっ」か コ「モリウ」タノコトオ ソ「レ」ワ
ionnokka といいます。 ionnokka 子守歌のことを それは
- 07 コ「モリウ」タトユーノワ ド「コデ」モ ア「ルヨネ」ー ニ「ホンフーデイ」エ「バ」
子守歌というのは どこでもあるよね。 日本風にいえば
- 08 ネ「ンネンコ」ロリヨ「ノ」ア「ノウ」タ「デ」スケレド「モ」ア「イヌワ」ア「イヌナ」リ「ノ」ガ
ねんねんころりよの あの歌ですけれども アイヌは アイヌなりのが
- 09 ア「リマスガ」ソ「レ」ワ ツ「ギ」ノシュ「ー」ニ イ「イマ」スガ い「おんのっ」かトユー
ありますが それは 次の週に いますが ionnokka という
- 10 コ「モリウ」タノコトオ い「おんのっ」かトイ「イマ」ス ソ「レ」デア「ウ」ン サ「ルガワ」ヤ
子守歌のことを ionnokka といいます。 それで 沙流川や
- 11 ム「カワ」ガワ ア「モ」ンベツガワ「マ」デワ ダ「イタイ」 い「おんのっ」か ソ「レ」カラ
鷗川川 門別川までは 大体 ionnokka それから
- 12 シ「ズナイノホ」ーエ イ「ク」ト い「おんる」いかトイ「イマ」ス い「おんる」いか
静内の方へ 行くと ionruyka といいます。 ionruyka
- 13 コ「モリウ」タノコトデスネ い「おんる」いかトユーフーニ イ「イマ」ス シ「ズ」ナイトカ
子守歌のことですね。 ionruyka というふうに います。 静内とか
- 14 ソ「ノチ」ホ「ー」ニヨッ「テ」 イ「イカ」タ チ「ガ」イマスガ い「おんのっ」かトイ「テ」モ
その地方によって 言い方が 違いますが ionnokka といっても

- 01 ワカリ「マ」スガ ウ「チノホ」ーデワ イオンル い「おんる」いかト ユーダヨトユーフーニ
わかりますが うちの地方では ionruyka と いうんだよというふうに
- 02 オ「シエテク「レマ」 ス ソ「レ」カラ ア「サヒ」カワノホ」ーエ イ「ク」ト
教えてください。 それから旭川の方へ 行くと
- 03 いふ「ん」けトイ「イマ」 ス い「ふんけ コ「レモ アー
ihunke といいます ihunke。 これも
- 04 オ「ナジコ「モリウ」タノコト デア「リ」マス ソ「ンナヨ」ーナコ「トデ
同じ子守歌のことです。 そのようなことで
- 05 ソ「ノチ「ホ」ーニヨッ「テ タ「ショー チ「ガイマ」スガ サ「ルガワアイヌ」ガ
その地方によって 多少 違いますが 沙流川アイヌが
- 06 い「ふんけトキ「イ」テモ アー アサヒカ「ワ」ノ コ「モリウ」タノコ「ト」ヨ
ihunkeと聞いても ああ 旭川の 子守歌のことよ。
- 07 い「おんる」いか アー シ「ズナ」イノホ」ーデワ コ「モリウ」タノコ」ト
ionruyka ああ 静内の方では 子守歌のこと
- 08 い「おんる」いかッテ イッ「タッ」ケナー ソー「ユーフ」ーニ ミ「ンナ コ「ノコ」トバワ
ionruykaって いったっけなあ。 そういうふうに みんな この言葉は
- 09 シッ「テイ」ルワ」ケデア「リマ」 ス ソ「レデ ア」カチャンオ セ「ナカニ」ツケテ
知っているわけでありです。 それで赤ちゃんを 背中につけて
- 10 ハ「ハオヤ ア「ル」イワ オネー オネーサ「ンガ オ」ンブシテア「ルキ」マス
母親 あるいは お姉さんが おんぶして歩きます。
- 11 ソ「レ」ノコトオ ヘ「かちこあプか」シトイイマス ヘ「かちこあプかし セ「ナカエ
そのことを hekacikoapkas といいます hekacikoapkas 背中に
- 12 ア「カチャ」ンオ オ「ンブシ」テ コー ユッ「ク」リ ジョーハ「ンシンオ ミ「ギエ ヤ
赤ちゃんをおんぶして こう ゆっくり 上半身を 右へ（右）や
- 13 ゼ「ンゴニ コー カ「ガメル」トユ」ーカ ウー ジョーハ「ンシンオ ウ「ゴカシナガ」ラ
前後に かがめるといふか 上半身を 動かしながら
- 14 アノ コ「モリウ「タ」オ イル ユーワ「ケ」デスネ ソ「ンナコ」ト デ アノ
あの 子守歌を いうわけですね。 そんなことで あの

- 01 コ「モリウ」タトユ」ーノワ セ「カイジュー ド「コデモ ア「ル」ンデショーケドモ
子守歌というのは 世界中 どこでも あるんでしょうけれども
- 02 ア「タシモ コ「ドモノコ「ロワ キ」ンジョノア」カチャン ア「ルイ」ワ ジ「ブンノ
私も 子供の頃は 近所の赤ちゃん あるいは 自分の
- 03 オ「トート」タチニ コ「ノ い「おんる「いか ア「ル」イワ い「おんのっ」かトユーンデスケド
弟たちに この ionruyka あるいは ionnokka というんですけど
- 04 コ「モリウ」タオシテ キカ「セ」テ キ「カセタキ「オクガ ア「ルワ「ケ」デア「リマ」ス
子守歌をして 聞かせて 聞かせた記憶が あるわけであります。

本研究は文部省重点領域研究「日本語音声における韻律的特徴の実態とその教育に関する総合的研究」(研究代表者：杉藤美代子)の成果の一部である。

Data from an Analysis of an Ainu Speaker's Hokkaido Dialect of Japanese

SUGA Yasuo

SUMMARY

This is the data of discourse analysis of the Hokkaido dialect of Japanese. The speaker, KAYANO Shigeru, is a bilingual speaker of Ainu and Japanese.

The data contain the dialogues between the speaker and his students when he told them some stories on Ainu culture in a beginning level Ainu class.

The author transcribed the dialogues and attached accent symbols to them, summing up their phonological features and grammatical expressions. The more detailed studies of characteristics of the Ainu speakers' Japanese are left for a future survey and analysis.